



CITY WATCHING

クローズアップ CLOSE UP

夜空を彩る大輪の花火

8月10日に前橋花火大会を開催。打ち上げ幅800mの超ワイドスターメインや七色に変化する虹の花火、空中ニアガラなど約1万5,000発の花火を打ち上げました。音楽付き花火では事前にリクエストのあった曲などに合わせ花火が上がり、会場の観客を魅了しました。



朔太郎賞受賞者企画展

9月23日(月)まで開催している「わたしは、にんげん、といひます 仲良くできますか 第31回 萩原朔太郎賞受賞者 杉本真維子展」。関連イベントとして、杉本さんが詩集「皆神山」について語るギャラリートークや小石を観察して詩を作るワークショップを実施しました。



当時の人々の思い感じ

市立図書館で、市指定重要文化財の祇園祭礼絵巻を使用した企画展を12月1日(日)まで開催中。祇園祭の歴史や江戸時代の本市の町名のほか、絵巻の歴史や和紙、絵の具などを紹介しています。会期中は、期間を区切り祇園祭礼絵巻の場面を替えて展示します。



魅力発見! 《ひろがるスロー》
前橋・赤城

【Vol. 8】チッタスローサンデー
☎ 観光政策課
☎ 027-257-0675

スローシティの取り組みなどを紹介するこのコーナー。今回は「チッタスローサンデー」について紹介します。

「チッタスローサンデー」は、スローシティ国際連盟が設定したスローシティを国際的に広める日。9月の最終日曜日(今年は29日)がチッタスローサンデーにあたり、前後1週間の9月22日(日)から10月6日(日)までは、各スローシティ加盟都市でスローシティの理念に沿ったさまざまなイベントや取り組みが開催されます。

本市では、チッタスローサンデーに合わせ、三つの取り組みを実施します。

一つ目は、スローシティを知ってもらうため、インスタグラムとX(旧ツイッター)で#(ハッシュタグ)キャンペーンを実施します。本市と同じく



スローなまちづくり
全国推進委員会ホームページはこちら

スローシティの宮城県気仙沼市ともコラボ。二つ目は、JR前橋駅前けやき並木通りへのスローシティフラッグ掲出。歩く際は、見上げてオレンジ色のカタツムリを探してみてください。三つ目は、日本トーターグリーンドーム前橋と臨江閣のオレンジライトアップ。スローシティロゴマークと同じオレンジ色にライトアップします。

この三つの取り組みは、視覚的にスローシティを認識してもらうために実施するものです。チッタスローサンデーを機に、オレンジといえば「スローシティ」、カタツムリといえば「スローシティ」といったイメージが共有できればうれしいです。

9月29日(日)は、前橋産の食材で料理をしたり、おでんなどで自然の中をサイクリングしたり、スローシティの良さを再発見しましょう。

いきいき まえばし人

ぐんま若者応援ネット・アリスの広場 理事長
佐藤 真人さん・42歳
昭和町二丁目

若者たちのつながりの居場所に

不登校や家にこもりがちな若者が利用するフリースペース・アリスの広場が本年度10年目を迎えた。自身も中1から約6年間、不登校でひきこもりがちなだったという佐藤さん。

「当時は2カ所のフリースペースにお世話になりました。その後、高卒認定試験を受験し、大学、大学院、社会人となりましたが、半年で辞めてしまいました。そのため、以前通っていたフリースペースに再度お世話になり、職業体験や地域若者サポートステーションなどを紹介され再就職に繋がりました」

自身の体験から、改めてフリースペースのような居場所の必要性を感じ、活動に理解のある人たちとの出会いをきっかけにアリスの広場をオープンすることができたという。

「ここでは、特に決まったプログラムはありません。一人でも本を読むのも、仲良くなった友達と遊んだりするのも、自分のペースで自由に過ごせる場所です。アリスの広場の目的は、まずは外に出ることに慣れること。そして、アリスの広場に來ている他の人達と出会い、関わりを持つ中で視野を広げ、次のステップにつながる居場所になればと思っています」

フリースペース以外にも、仕事体験やさまざまなイベントを開催している。どこにも行けない、どこにも行く場所がないと悩んでいる人は、ぜひ相談してみては。